

東京消防庁多摩消防署

新庁舎 見どころ紹介



2020年7月7日、新庁舎が完成し、事務を開始しました。

新しく導入された免震構造のシステム

100年に一度と言われる震度7クラスの巨大地震が発生したとき、水平方向の揺れを最大で60cm幅で吸収し、車庫内の消防車や事務室の電子機器等の破壊を防ぎます。



訓練用屋内消火栓を設置

庁舎東側に訓練用屋内消火栓を新たに設置しました。市民の方は、防災訓練などで使用できます。

バリアフリー化

庁舎内はバリアフリー化され、事務室も車椅子で通れるよう通路を広くしています。



新庁舎は、旧庁舎より約2倍の広さ

新庁舎は、旧庁舎と比べて約2倍の広さとなりました。事務所内には都民相談室が2か所設けられており、また、防災教室等もあります。

多摩地区で生産・認証された木材を一部使用

庁舎入口等は多摩地域で生育し、多摩地区で生産認証された木材、「多摩産材」を使用しています。



太陽光パネルを設置して省電力！

屋上には上空からも場所がわかるようにヘリサインが描かれ、省電力化を図るために太陽光パネルを設置。